

2018年3月



森と海 of 自然科 活動案内 「川と街道を訪ねて-No.9」

名張川、月ヶ瀬湖、月ヶ瀬梅林、島ヶ原の宿探訪（記録）

- 1：日時、場所 平成30年3月8日（木） JR大阪城公園駅 9時発車（チャーターバス）
- 2：参加費 2000円
- 3：参加者 14名プラスお友達3名（浅野、伊藤、大石、児玉、坂根、荘村、秦、日景、藤井、前野、山下、倭、山本裕、上條、お友達：西井、渡瀬、篠田）

今回は名張川・月ヶ瀬梅林と大和街道（旧東海道）島ヶ原宿を訪ねた。

数日前から雨は避けられない気配。雲が深く垂れ込めるなかをバスは出発。その後散策中は降雨なくラッキーであった。

＜月ヶ瀬梅の資料館見学＞

月ヶ瀬梅林は「紅花染」に使う「烏梅（うばい）」の原料となる梅の実のために栽培され、江戸時代には10万本あったと。現在は食用梅の栽培や観光資源として利用されている。

資料館には月ヶ瀬に来遊した文人墨客が残した書画などを展示している。残念ながらわれら素人にはどれだけのものかよくわからない。



＜月ヶ瀬梅林散策＞

三々五々、数人のグループに分かれて散策。私たちにグループ4人は店に立ち寄り、味見などしているうちにメインのグループとはぐれ展望台で引き返した。

急な階段の上にある展望台には店番のおばあさんがちょうど見ごろの「しだれ梅」のいわれを説明。そう、三重県津市にある結城神社から譲ってもらったものであると。



昼食はお店でうどんを食べた方が多かったようだ。

梅干しの酸味が汁に広がりおいしかった。

バスで途中下車し八幡橋（吊り橋）、竜王の滝を見学



次の訪問地の島ヶ原の宿は東海道が整備される前の奈良の都と東方（伊勢方面）を結ぶ幹線の一つであった大和街道の宿場で旧本陣などがある。散策には島ヶ原観光復興会の山菅会長様に案内いただいた。



＜島ヶ原・行者堂散策＞

小山川を渡り見上げるような石の階段を登った先に行者堂がある。岩肌のくぼみに役行者（えんのぎょうじゃ）が祭られている。また対岸には阿弥陀磨崖仏があり、制作年代は南北朝から室町時代とのこと。



＜大和街道（旧東海道）島ヶ原宿、木津川の散策＞

島ヶ原の宿の町並みは東北方向へ500m。旧本陣は我々のために大名が出入りする門が解放され、庭から窓越しにお殿様が座る高座や畳敷きの部屋を観察することができた。

役場前でバスに乗車。17:30 大阪城公園駅 着

写真：坂根、記録：上條